

テラプローブグループ 生物多様性行動指針

テラプローブグループは、生物多様性が持続可能で豊かな社会にとって重要な基盤であるという認識のもと、生物多様性に関する憲章や枠組みを尊重し、生物多様性を保全するための行動指針を定めます。

1. 生物多様性の保全を社会に浸透させるためには、それらを実践する人づくりが重要であると認識し、社員への啓発活動を通じて生物多様性の保全の重要性を広く周知、自主的な活動を促進します。
2. 設備の調達などサプライチェーン全体が与える影響を認識し、生物多様性へ配慮したグリーン調達を推進します。
3. 地域社会や学校、行政とのコミュニケーションおよび共同作業を通じて、森林、河川、海洋の生物多様性の保全に努めます。
4. 生物多様性の保全への取り組みに関する情報を積極的に開示し、ステークホルダーとの共有を促進します。

2011年6月

株式会社テラプローブ
代表取締役社長
渡辺 雄一郎